



## 食品表示の適正表示徹底を！ -石下農産物直売所食品表示研修会-



10月21日、食品表示の適正表示徹底を図るため、常総市にある石下農産物直売所の会員を対象に研修会を開催しました。研修会では、茨城県保健福祉部から講師を招き、生鮮物・加工食品・米等の食品表示について講演していただきました。

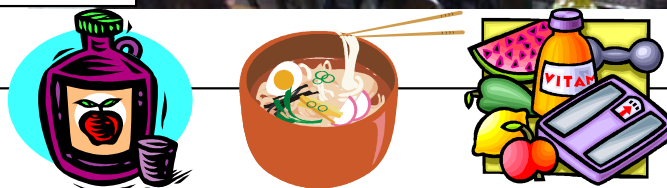
会員の方は日頃から食品表示に高い関心を持っていて、講師のお話に興味を持って聞いていました。

近年、直売所での加工品販売が活発になってきています。そのような中で、普及センターは消費者の方に誤解を生じさせない適正な表示の徹底を通じて、産地の信頼構築を支援していきます。



研修会の様子

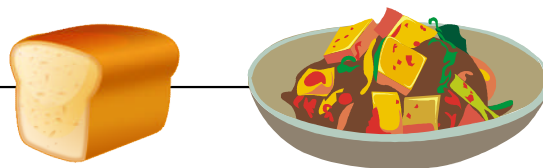
### 食品表示まめ知識① ～原材料名～



最近のニュースをにぎわせている原材料表示についてです。原材料名とは、使用した原材料を食材および食品添加物に分け、それぞれ重量順に記載したものです。これらを適正表示しない場合、食品偽装の嫌疑がかかり産地の信頼を失ってしまうおそれがあります。

また、原材料にアレルギー物質を含む場合、その旨の記載が必要とされています。

### 食品表示まめ知識② ～賞味期限と消費期限～



賞味期限とは、「定められた方法により保存した場合において、期待される全ての品質の保持が十分に可能であると認められる期限を示す年月日（ただし、当該期限を超えた場合でもこれらの品質が保持されていることがあります）」カップ麺・スナック菓子等品質の劣化が比較的遅いものに使用される表示法です。

消費期限とは、「定められた方法により保存した場合において、腐敗、変敗その他の品質の劣化に伴い安全性を欠くこととなるおそれがないと認められる期限を示す年月日」、肉・魚介類等、急速に劣化しやすいものに使用されます。

# 野菜の品種改良・土づくり・農作業安全について学ぼう！

## -第5回・第6回農業学園アグリ講座-

10月22日、「種苗会社および農機メーカー視察研修」をテーマに、第5回農業学園アグリ講座を開催し、土浦市の「武蔵野種苗園新治育種農場」と美浦村の「スガノ農機茨城工場」を視察しました。

武蔵野種苗園新治育種農場では、国内および海外向けの新品種開発の流れや品種比較試験の方法などについて話を伺った後、試験栽培圃場の見学を行いました。学園生は「この野菜の栽培方法は？」など興味を持っている様子でした。

また、スガノ農機茨城工場では、土づくりにおける『耕す』ことの重要性について学んだ後、工場内を見学しました。移動中のバス内でも、学園生同士で情報交換を行っており、有意義な講座となりました。



農機工場見学



危険体験

さらに、11月1日（金）、県西三地区（筑西・結城・坂東）の普及センターが主催となった合同の農業学園として、農業機械研修会を行いました。

農機販売メーカーの協力のもと、農作業事故の現状と原因、トラクターや刈払機の安全な使用についての説明の後に、トラクターが横に傾いた状態と片ブレーキの危険体験を行いました。

学園生の中には農作業安全講習を始めて受けた方もいて、「これまでの農業機械の使用方法の間違いに気付いた」という声が多く聞かれました。農業学園の合同開催は今年度初の試みでしたが、実習中には各地域の学園生が自宅の経営内容やトラクター等の機械の話題で交流していました。今後も、広域的な若手農業者同士の交流促進を図りながら有意義な講座を開催していきます。

### 茨城の情報満載☆いばキラTV☆

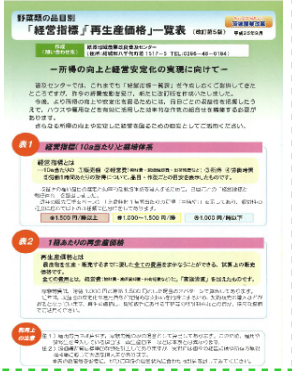
『いばキラTV』とは、県内のスポーツニュースや穴場スポットの紹介など、茨城の旬な情報、魅力的な情報を発信しているインターネットテレビです。

ご家庭でインターネットが使用できる環境であればいつでも視聴可能ですので、ぜひご覧ください！



### 「経営指標」一覧表できました

10a当たりの販売額・経営費・所得・労働時間等について、品目・作型ごとの目安を表示した経営指標一覧表改訂版を発行しました。資料が必要な方は普及センター（担当：遠藤）までご連絡ください。



### 病害虫ノート

### 発病すると著しく商品価値低下！ -シタス斑点細菌病-

発病初期に、地際に近い外葉の葉縁部および葉肉部から水浸状の小型の丸い斑点ができます。この症状が本病の最大の特徴です。

この水浸状の斑点は、しだいに拡大して褐色紡錘形の病班となり、やがて中心部が灰褐色に変わったのちに破れて穴が開きます。

発病は、地際に近いところの外葉から始まるため、下葉を注意して観察し、早期発見・早期防除に努めてください。



病徴